



神戸製鋼所副社長を務め、その後顧問として神戸経済同友会代表幹事時代に縁があり、海陸

運送業の長手ホールディングス（長手HD、本社・神戸市中央区）の副社長として入社。きよ

う6月26日の株

主総会で社長へ就任。「物流の構造改革が問わ

長手HD

社長に就任する

な ら き か ず ひ で

檜木 一秀氏



神鋼の人脈、経験活用し拡販

れる時代に、顧客と社会、そして当社の「三方よし」で、CO₂排出削減という価値ある輸送を実現したい。物流DXの取り組みを強化し、モーターシフトを加速させ、物流問題の解決と、カーボンニュートラル実現に向けて貢献していく」と抱負。

長手HDは海陸複合輸送を全国展開する。自動車や建機など特殊車両の輸送に強みを持つ

が、紙パルプ、日用品、飲料、農作物などカバー範囲は広い。グループ全体で社員数は約190人。2025年3月期は増収増益で、売上高132億円。今年に入り長手裕輔CEO（50）から社長就任を要請され、驚きながらもその場で快諾。長手家以外では同社初の社長となるが特段意識はせず「多様な人材にとって働きがいのある職場にするために、人事・給与制度

をモットーにやってきた。神鋼時代に培った経験や人脈を駆使し、さらなる事業領域の拡大と社内外を含めた情報ネットワークを活用し、販路を拡大していく」と、古希を越えてなお精力的に働く。

略歴

（斎藤 雄輝）

を見直した。社員がやりがいを持って働けるようコミュニケーションを取っていく」と意気軒昂だ。

1977年（昭52）大阪基礎工学部卒、神戸製鋼所入社。機械事業部門で技術畑を歩み、米関連会社の社長や産業機械事業部長など機械部門の要職を歴任。2012年専務・機械事業部門長、14年副社長、16年コベルコ建機社長、神鋼顧問を経て24年6月長手HD副社長として入社。25年6月現職。1953年（昭28）11月11日生まれ。神戸市灘区出身。

